

(株) 原信 物流センター

訪問日：平成 16 年 11 月 6 日

訪問班：物流システム班（松本）

分類別：復旧・復興状況

キーワード別：道路、輸送、交通ネットワーク

調査結果

(1) 震災後の状況

- 物流センターは地震時もインフラの確保ができた。コンピューターのダウンもなし。
- 地震発生後、配送していた車とは無線で連絡し安全を確認。車、ドライバーともに被害なし。
- 魚沼地区へは 24 日から 4 日間は一般道路のみで輸送、柿崎周りで 4～5 時間（渋滞が予想される柿崎～253 号で行くより、柿崎を選択した）。
- 28 日からは、見附警察署で除外車両のステッカーを全車 53 台（ほとんどが 6 t～10 t）許可され、高速道路使用可、魚沼まで 1 時間で行けるようになる。（食品、医薬品、医療関係車両に配布）
- 関東からは郡山経由で高速道路を使い商品を集荷する。
- 2 割程度、納品できない商品があった。
- 小千谷、十日町、長岡の店舗では被害が大きかった。特に小千谷店は天井がぬけるなどの被害。通常営業は、10 月 30 日と原信全店でもっとも遅い（ライフラインの復旧のおくれと店内の安全確保のため）。
- 災害の商品の発注件数が 26 日には、前年比 244%（災害期間中の発注件数の資料と記録をもらった）。

(2) 救援物資の輸送

- パトカーの誘導で小千谷市役所の物資を輸送した。多いものは、水・おにぎり・カップラーメン・パン等。
- 23 日以降、現在も避難所用を輸送している。

(3) 通常の物流体制

- 原信全店、中ノ島の物流センターでカバーする。
- 配送車両は 53 台（ほとんどが 6 t～10 t）、運送会社と原信自社の車を使用。
- 通常、長岡等の近場以外は 100% 高速道路を使って運送。
- 全車、無線装備（災害に強い、決められた区間を決められた時間で走っているため GPS は不要）。